

平成 26 年度活動計画

公共交通利用促進のための市民フォーラムを開催する。（4年連続・4回シリーズ、第4弾）

タイトル：

～「明日の金沢の交通を考える市民会議」フォーラム～

次世代のために『金沢都市圏の公共交通環境の将来像』を共有する

（事業の概要）

北陸新幹線・金沢開業までの4年間で、開業直後の5月頃に、シリーズ最後の4回目のフォーラムを開催する。金沢市民にとっての公共交通とその存続の大切さを理解し、共有化を図っていく。

2014年7～9月 事務局での出席者、会場、宿泊施設、開催内容などの確認・連絡・調整作業

2014年10月上旬 事務局レベルでの事前準備調整会合〔関連諸団体への出席要請を含む〕

2015年1～3月 「事業案内」などの広報・周知活動

2015年7～10月 事業実施後での「成果報告書」の編集・作成

2016年1～3月 参加者・関係者などへの結果報告、特に「成果報告書」の配布や送付

【合計4年間で、継続開催を予定する分科会及び全体(総括)フォーラム(の開催内容)】

○【2011年】第1分科会 公共交通存続に向けての、NPOや市民の役割や責務などを確認し合うフォーラム

設定テーマ ＊ 『市民・県民として、公共交通存続の必要性とそのための市民の役割』 ＊

出席者 金沢まちづくり市民研究機構、地球の友・金沢、金沢・L R Tと暮らしを考える会、家族とくらしの会、金沢まちづくり学生会議、明日の金沢の交通を考える市民会議

○【2012年】第2分科会 公共交通関係者や経済団体などによる事業戦略や組織づくり提案のためのフォーラム

設定テーマ ＊ 『金沢まちなかの魅力向上と公共交通環境の将来像』 ＊

出席者 神野重行 氏（中部百貨店協会会長、元 めいてつ・エムザ社長）

北陸経済連合会杉山正樹氏、金沢市商店街連盟小間井隆幸氏、石川県社交料飲生活衛生同業組合梅村光男氏、金沢大学名誉教授前田達男氏、金沢大学人間社会学域准教授香坂玲氏

◎【2014年】第3分科会 金沢都市圏の行政責任者による公共交通利用促進のための都市圏連携フォーラム

設定テーマ ＊ 『新幹線開業と金沢都市圏の公共交通のあり方』 ＊

基調講演 「都市交通の経営と市民の役割」加藤浩徳氏 東京大学大学院工学系研究科 教授

パネルディスカッション出席者 金沢市、白山市、野々市市、かほく市、内灘町、津幡町各行政担当責任者

◇ 【2015年】総括するための全体フォーラム

・各分科会での参加代表者による「総括フォーラム」 ・3つの分科会での「話し合われた内容の報告」

・会場参加者からの一般意見の聴取 ・全体総括の「宣言文」の発表

設定テーマ(案) ＊ 『次世代のために「金沢都市圏の公共交通環境の将来像」を共有する』 ＊

※ 実施方法（予定場所）⇒ 金沢市文化ホール、しいのき迎賓館、石川四高記念館、その他都心部の諸集会施設を利用

※ 実施方法(参加見込数) ⇒ 1～3の各分科会は 50～80人程度、全体(総括)フォーラムは、80～100人程度を想定する